

# 2023～2024年度 小倉中央ロータリークラブ週報

第1341回 例会

6月17日(月)

本日の卓話

クラブ協議会

「2023-24年度 活動報告」



世界に希望を生み出そう

例会日 月曜日 12:30～13:30  
 例会場 リーガロイヤルホテル小倉  
 事務所 小倉北区堺町1-2-16-3F  
 TEL 093-531-4015  
 FAX 093-531-1022

会長の時間（6月10日 1340回 例会記録）

梶原会長

出席報告 6月10日

会長の時間では、「日本人とユダヤ人」についてお話ししました。現代ではユダヤ教徒の事をユダヤ人と言いますが、ここで言うユダヤ人とは、古代イスラエル人を指します。

ここからの話は旧約聖書に基づくもので、現在起こっているイスラエルとパレスチナの争いの根源があります。

旧約聖書では神ヤハウェが天創造の後、赤土からアダムとイヴを作りました。その子孫がノアでありノアの子孫がヘブライ人（ユダヤ人）の祖アブラハム（アブラムから改名）です。紀元前2000年頃、アブラハムは神よりカナン（ユダヤ）の地を与えられますが、乾燥した荒野だった為、住む事を諦めます。その後エジプトに行きますが、ファラオと揉めてカナンに戻ります。アブラハムには、イシュマエルとイサクと言う二人の子供をもうけますが、イシュマエルは「アラブ民族の父」となります。イサクはエサウとヤコブという双子が無まれ、ヤコブは神との戦いの末イスラエルと改名し「イスラエル民族の父」となります。ヤコブは12人の息子を授かります。ただ、親に溺愛されていた11男のヨセフは他の兄弟の嫉妬から奴隷としてエジプトに売られます。特殊な才能の持ち主だったヨセフは、奴隷からエジプトの首相

(No.2)にまで出世をし、飢饉からエジプトを救います。飢饉から逃れようとエジプトへやって来たヤコブの11人の息子達はヨセフと再会します。ヨセフは兄弟の罪を許し、イスラエルの民を向かい入れます。ヤコブの死後、12人の子供達はそれぞれ一族の長となり、12の支族が誕生します。ところがイスラエル人が増えていく事を危惧したファラオは、徐々に態度が変わり、ヨセフの死後奴隷のように扱うようになります。

それから400年が過ぎた頃、あのモーセが誕生します。神の啓示を受けたモーセはイスラエルの民を救い出し、再びカナン（ユダヤ）の地に向かいます。40年間の放浪の後、初めてイスラエルという国が建国します。領土は今のイスラエルとパレスチナを足したものを一回り大きくしたぐらいあったそうです。最初は王政を引かず領土を12支族が分割し暮らしていましたが、預言者サムエルがサウルという英雄を王とし統一国家を作ろうとしましたが、サウルの傲慢さ故追放されます。変わって羊飼いの子ダビデが選任され、混乱していた前イスラエル民族を見事にまとめ上げイスラエル統一王国が誕生します。それを引き継いだ息子ソロモンは、周辺国に比べても頂点と言える繁栄をしたが、晩年に別人になったかのように墮落し、国民は重税と重労働に不満を募らせていた。ソロモンの死後、息子のレアベアムが即位すると重税・重労働は更に加速し、ついに10支族とレビ族の一部からなる北イスラエルと、残りのレビ族と2支族からなるユダ王国に分裂します。

紀元前722年にメソポタミアのアッシリア王国が北イスラエルを制圧し、10支族の民は捕囚されます。その後、ユダ王国も新バビロニア王国に滅ぼされてしまいます。しかし紀元前538年、新バビロニア王国も滅亡し、ペルシア帝国の支配下になりますが、寛容な宗教政策のお陰で、元ユダ王国2支族はパレスチナへの帰還が許されます。その頃アッシリア王国も滅亡していた為、本来なら捕囚されていた10支族も帰還してしかるべきだったのですが、ほとんどの人々は帰還せず、忽然と姿を消してしまいました。その一部が日本にたどり着いたと言われています。そしてペルシア帝国もローマ帝国に滅ぼされ、残りの2氏族もヨーロッパ、アフリカ、西アジアへ離散したと言われています。

宗教の影響を受け、紀元前2000年からさまよい自分の国を求め続けた民族の思いは、今でも計り知れないものがあるのでしょうか。

2700年以上続く日本という国で生きる我々には、理解が難しいですね。

在籍会員数	43名
義務出席者	40名
ゲスト	0名
ビジター	0名
本日出席数	33名
本日出席率	82.50%
前々回修正出席率	88.37%

次回（6月24日）の卓話は、

年度末夜間例会

場所：リーガロイヤルホテル小倉

時間：18:30～

6月のお誕生日

- 11日 鎌水 裕介 会員
- 16日 池浦 泰徳 会員
- 24日 上田 泰博 会員

今月の主な予定

- 1日(土) IA7校合同例会
- 3日(月) 定例理事会
- 14日(金) イレブンの会
- 17日(月) 次年度理事会
- 19日(水) 二水会

## 卓話の時間

「 自己紹介 」

村里 淳会員



## 1 生い立ち・家族関係

私は和歌山県生まれですが、小学校に入る前に福岡県宗像市に引っ越してきてからはずっと福岡県内で生活しています（城山中学校、福岡高校、九州大学、九州大学法科大学院）。

家族関係としては、両親と2歳上の姉がいます。

私自身は結婚し、妻・子供4人の6人家族です。最近では珍しいと思いますが、妻の両親、妻の姉夫婦と同居しており、妻の姉夫婦にも子供が3人いますので、ひとつ屋根の下に13人が同居している、という賑やかな環境で生活しています。

## 2 学生時代

中学時代は野球部に所属し、2番センターを任されることが多かったです。昔は2番といえばバントが上手い技巧派、というイメージでしたが、当時の監督はかなり先進的な考え方の監督で、打順は出塁率を重視して決められていました。現在のメジャーリーグの考え方に近かったのかもしれない。

中学校の野球部は県内でもかなり強く、県内2位以上が参加できる九州大会にも出場しました。最後の夏の大会では決勝で負けてしまい、全国大会に行けなかったのですが、今となっては悔しくもいい思い出です。

高校ではハンドボール部、大学ではバスケットボールサークルに所属しました。体を動かすのは好きな方です。

## 3 司法試験・弁護士業のご紹介

周囲が就活を始める頃、自分も一般企業に就職することでよいのか？と疑問を持ったこと、法科大学院の制度ができ、司法試験の勉強がしやすい環境ができたこと、資格を取ってから企業に就職という道もあること等から、法科大学院に進学することを決めました。

法科大学院で現在の妻と出会い、卒業してすぐに結婚し、子供も生まれるという一大イベントもありましたが、無事に司法試験に合格し、最初は福岡市内の法律事務所に就職しました。

その事務所のボス弁が医師会の顧問弁護士であったことから、特に医療事故事件について多く経験を積ませていただき（6年間）、独立する形で北九州市の法律事務所に加入しました。

現在独立して4年目になりますが、やはり取扱事件としては事故関係（交通事故、医療事故、施設事故等）が多いです。また、最近は顧問先相談もかなり増えてきました。

最後に、これまで関わった事件で、特に印象に残っている事件を2件ほどご紹介させていただきました。皆様にもご興味を持っていただけたようによかったです。

これからロータリークラブの一員として、どうぞよろしくお願ひいたします。

## 幹事報告

北垣副幹事

・次週6月17日(月)は、クラブ協議会「2023-24年度 活動報告」となっています。各委員長の皆さんは、発表をお願いします。都合が悪く欠席される場合は、副委員長さんへ連絡をお願いします。

## 次年度地区委員会 委嘱状



社会奉仕委員会 野村真幸樹会員

広報・公共イメージ向上委員会 北垣友和会員

危機管理委員会 細川忠広会員

## 二ココ献金報告

累計 599,750円

梶原会員—村里さん、本日の卓話、楽しみにしています。

白石会員—野村さん、肉体労働ありがとうございました。

樋上会員—ネーションズリーグ 2024 バレー男子の日本イラン戦のチケットが当選し、応援してきました。

昨日は、1500円自由席のドイツ VS トルコ戦は、第2セットが44-42で終了。疲れましたがいい経験をさせてもらいました。

野村会員—6/8で息子が5歳になりました。これからも家族みんな健康で平凡でいられるよう楽しくがんばります。

鍋島会員—白石さん、先日の地区研修・協議会では、タクシーに乗せていただいて楽ちんでした。ありがとうございました。

合計 8,000円

祝お誕生日祝い— 樋水裕介会員